



いこいーな
©シンエイ/西東京市

やさしさとふれあいの西東京に暮らし まちを楽しむ



西東京

主な内容

- 住民票等自動交付機休止…2
- 年末保育…2
- 都営住宅の入居者募集…3
- 逸品ゼミナール 参加者募集…6
- 11月は児童虐待防止推進月間…8

No.419

平成29年(2017)

11/1

市役所代表番号 042-464-1311 (平日午前8時30分~午後5時)

発行/西東京市

編集/企画部秘書広報課 〒188-8666 東京都西東京市南町5-6-13

配布/シルバー人材センター 042-425-6611

詳細はホームページで [西東京市Web](http://www.city.nishitokyo.lg.jp/)

検索

市ホームページ <http://www.city.nishitokyo.lg.jp/>

携帯電話から <http://www.city.nishitokyo.lg.jp/mobile/>



東京2020大会まで1000日を切りました!

パラスポーツを通じて、未来を変えよう!

西東京市 × オランダオリンピック委員会・スポーツ連合(NOC*NSF)連携プロジェクト始動!!

ヨーロッパで生まれた重度脳性まひ者や同程度の四肢重度機能障害者のために考案されたスポーツで、夏季パラリンピックの正式種目。ジャックボール(目標球)に、赤・青のボールを投げたり、転がしたり、ほかのボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

日本は、リオデジャネイロパラリンピック団体戦で初の銀メダルを獲得し、注目が高まっている競技の一つです。



ボッチャ

写真提供 オランダNOC*NSF



ゴールボール

視力に障害のある方を対象に考案されたスポーツで、夏季パラリンピックの正式種目。アイシェード(目隠し)を着用し、鈴入りボールを互いに転がすように投球し、鈴の音を頼りに相手ゴールを狙います。4大会連続出場となったリオパラリンピックでは、日本女子は総合5位に入賞し、今後が期待される競技です。

オランダで生まれたニュースポーツ(いつでも、どこでも、誰でも気軽にできるスポーツ)。バスケットボールのルールを基に考案され、パスをつなぎながら、360度どこからでもシュートが打てるゴールを目指します。日本では、約100人の選手がプレーしています。



キックボール

オランダNOC*NSF連携プロジェクトでは、3つのスポーツを核として、障害のある方もない方も一緒に日常的にスポーツができる環境が定着するように、パラスポーツの普及啓発、障害や障害者への理解促進などを図ります。

3競技に関するイベントはもちろん、誰もが気軽に楽しむことができるパラスポーツの体験やワークショップ、パラスポーツを一緒に支えていただける方を対象とした講習会などを開催します。皆さんのご参加をお待ちしています。

◆スポーツ振興課 ☎ 042-438-4081

どんなプロジェクトなの?

西東京市が、足立区・江戸川区と共に、オランダNOC*NSFおよび日本スポーツ振興センター(JSC)と連携して、2020年までパラスポーツの力を活用して各自治体の地域における社会課題を解決するプロジェクトです。

本プロジェクトは、単なるスポーツの技術向上や普及啓発だけでなく、スポーツを通じて、障害者がより活動的になるための機会創出や相互理解を図るなど、現在の社会からより良い共生社会を目指す取組であり、東京2020大会のレガシーとなるものです。

最初のイベントは?

11月12日(日)市民まつりです。野外ステージの市民まつりセレモニーおよびイベントエリアに、ロンドン、リオパラリンピック卓球の金メダリスト、ケリー・ファン・ゾン選手(オランダ)が登場します。一緒にスポーツを楽しみましょう。



10月10日に連携締結の調印式が行われました

駐日オランダ王国大使館にて、NOC*NSF事務局長、JSC理事長、丸山市長をはじめとする3自治体代表者による協力覚書の調印が行われました。

ジェラード・ディールセンNOC*NSF事務局長からは、「オランダと日本とが知識を共有し、スポーツの力で世界中の共生社会につながるプロジェクトにしたい」とのスピーチがあり、連携プロジェクトへの期待が寄せられています。



調印式の様子

オランダ NOC * NSF とは?

オランダのスポーツ統括機関として、オランダオリンピック委員会(NOC)とオランダスポーツ連合(NSF)が連盟した組織です。

リオオリンピックに向けた2013~2016年に、リオ市の地域課題を解決する同様のプロジェクトが行われ、子どもたちの将来の学業へのモチベーションを高めるとともに、オランダのエリートアスリート自身への教育としても効果が認められました。

今回のプロジェクトでは、アスリートや専門家にオランダから訪問していただき、パラスポーツを通じた社会変化の創出、障害者のためのパラスポーツ活動などに関する知識と専門性などを共有する予定です。